

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	学術の国際協力事業の推進		担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者	国際交流官 匂坂克久	
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度・平成22年度		担当課室	国際交流官付				
会計区分	一般会計		施策名	VII-5. 科学技術の国際活動の戦略的推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国内外の大学等、関係機関との連携を図りつつ、我が国と諸外国との研究者交流状況等を把握し、国際共同研究を推進することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際共同研究を推進するため、国内外の大学等との意見交換を通じその問題点等を明らかにするとともに、国際交流推進施策に関する基礎資料となる国内の研究機関と諸外国との年間の研究者交流状況に関する調査等を実施。また、アジアにおける国際活動の戦略的推進のための外国人研究員の受入れ促進手法の開発等を推進。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	1	1	96	—	—	
		繰越し等	0	0	0	—	—	
		計	0	0	0	—	—	
	執行額	1	1	96	—	—		
	執行率(%)	2	0	82				
		193.8%	13.0%	85.7%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	国際共同研究を推進するため、国内外の大学等との意見交換を通じその問題点等を明らかにするとともに、国際交流推進施策に関する基礎資料となる国内の研究機関と諸外国との年間の研究者交流状況に関する調査等を実施することを目的にしております。定量的な指標による評価にしない。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	外国人専門家等の招へい数 (滞在費のみ支給の場合も含む)		活動実績 (当初見込み)	人	-	-	14	—
	業務委託を通じた中国政府派遣研究員の受入れ数		活動実績 (当初見込み)	人	-	-	96	—
単位当たりコスト	0.43 (百万円/招へい者) 0.25 (百万円/中国政府派遣研究員)		算出根拠	インプット(招へい旅費及び滞在費):6百万円 アウトプット(招へい人数):14人 インプット(中国政府派遣研究員受入費):24百万円 アウトプット(中国政府派遣研究員):96人				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
				平成22年度限りの経費				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成21年度の行政事業レビューの指摘を踏まえ、本事業を平成22年度限りでいったん廃止した上で、委託費に係る部分は「科学技術国際活動の推進」へ、それ以外の部分は「科学技術国際活動の推進事務費」へ、いずれも予算を縮減しつつ整理統合した。なお、平成21年度において、「研究環境の国際化の推進」で実施していた事業の一部を、平成22年度から本事業に統合した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止の上、他事業と整理統合している。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

文部科学省
82百万円

国際共同研究を推進するため、国内外の大学等との意見交換を通じその問題点を明らかにするとともに、国際交流推進施策に関する基礎資料となる国内の研究機関と諸外国との年間の研究者交流状況に関する調査等を実施。

非常勤職員手当	18 百万円	} を含む
外国人招へい旅費	4 百万円	
招へい外国人滞在費	2 百万円	
その他	2 百万円	

【A】〔総合評価入札・委託〕

研究員受入れ
社団法人科学技術国際交流センター
56百万円

日中文化交流協定に基づく中国政府派遣研究員受入れの支援やアンケート等によるアジア諸国の研究者受入れ促進調査、外国人研究者の生活・研究の円滑化のための情報発信等を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単位:
百万円)

A. 社団法人科学技術国際交流センター			E.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
中国政府派遣 研究員受 入費	中国政府派遣研究員への研究支援費	29			
人件費	業務担当職員	12			
国内旅費	オリエンテーション参加、企業訪問、受 入大学訪問のための旅費	3			
会議開催費	オリエンテーション開催等	2			
雑役務費	アンケート作成・集計等	2			
外国旅費	帰国後キャリアパス調査等のための旅 費	1			
その他	諸謝金、通信運搬費、消耗品費、印刷 製本費、消費税相当額	1			
一般管理費		5			
計		56	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人科学技術国際 交流センター	国際共同研究推進のための研究者受入促進・ネットワーク強化に係 る調査研究	56	1	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					